

A decorative graphic on the left side of the slide features a vertical black line intersecting a horizontal black line. To the left of the intersection are three overlapping squares: a blue one on top, a red one on the left, and a yellow one on the bottom. The main title 'PJLinkの紹介' is positioned to the right of this graphic.

PJLinkの紹介

JBMIA データプロジェクター部会
PJLink分科会



背景

- 現在のプロジェクター監視・制御の多くは、RS-232C（シリアル）を利用して行われているが、今後はネットワーク化が進む。
- RS-232Cは、初期の体系統一を図らなかったため、複雑化、非体系化の状態まで現在に至ってしまっている。
- 最近では、多くのプロジェクターが一度に納入されるケース、また複数のメーカーのプロジェクターが混在して設置されるケースが増加してきている。
- それに伴い、一つの制御機器から、複数メーカーのプロジェクターをネットワークで一括管理する監視・制御方法が求められはじめられている。



目的

- 今後主流となるネットワーク経由のプロジェクト監視・制御においては、早期の体系化をJBMIAによる推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクトの普及促進を図ることを目的とする。

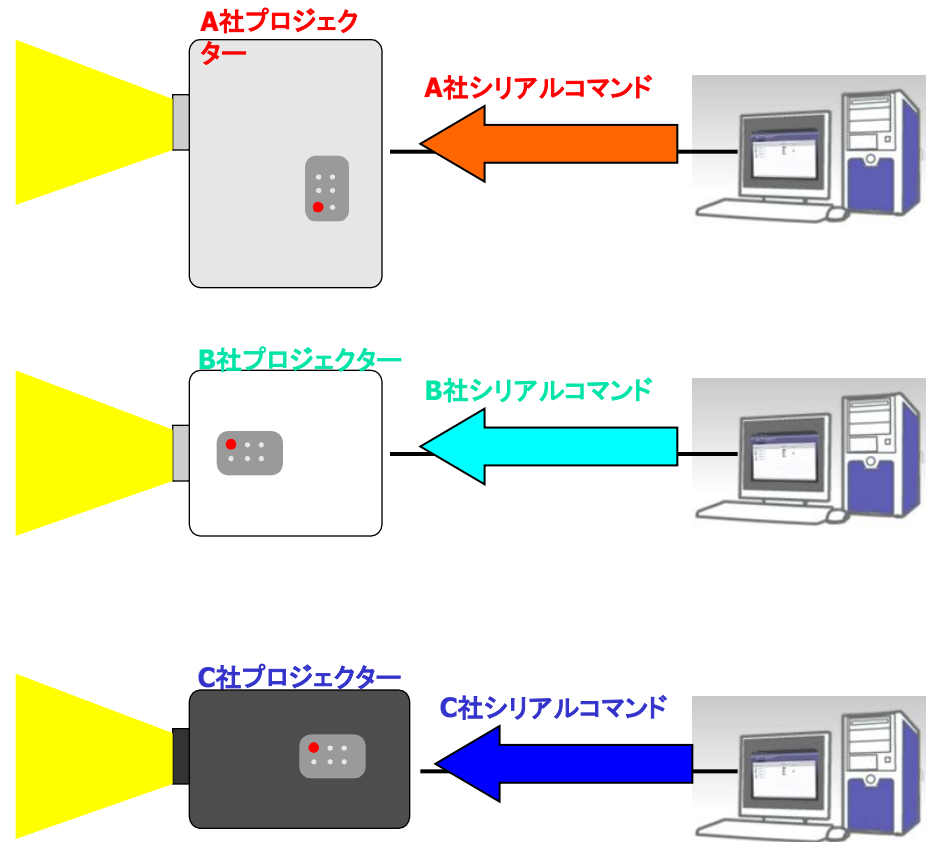
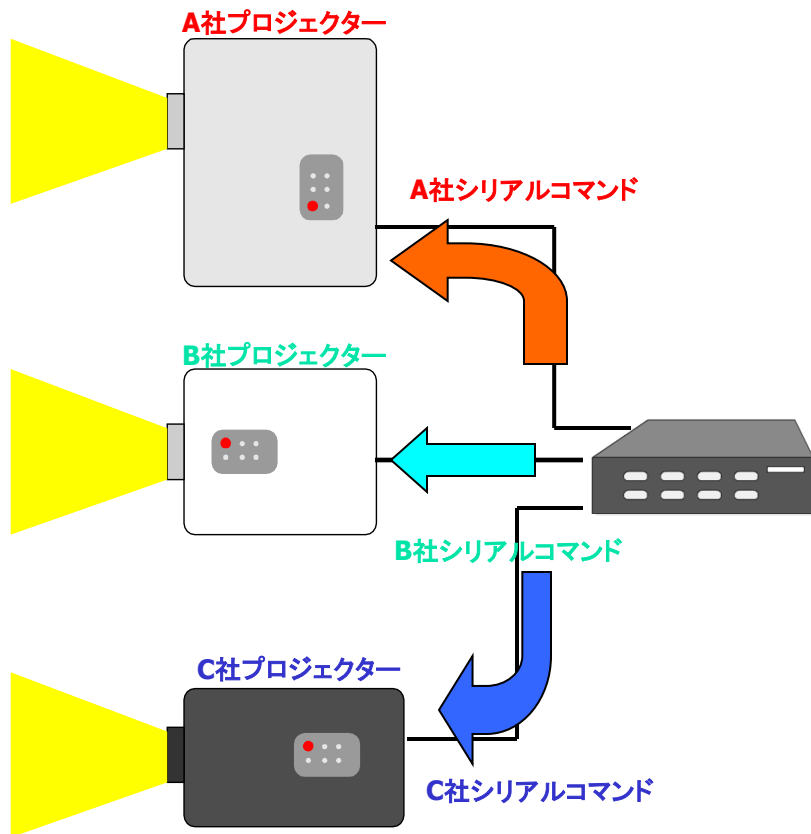


メリット

- ネットワークを利用した複数メーカーのプロジェクトの監視・制御は、大規模プロジェクトシステムを実現しやすくする。
- システムの一元管理、大幅な設置コスト削減等、ユーザーにとって多大なメリットが得られる。

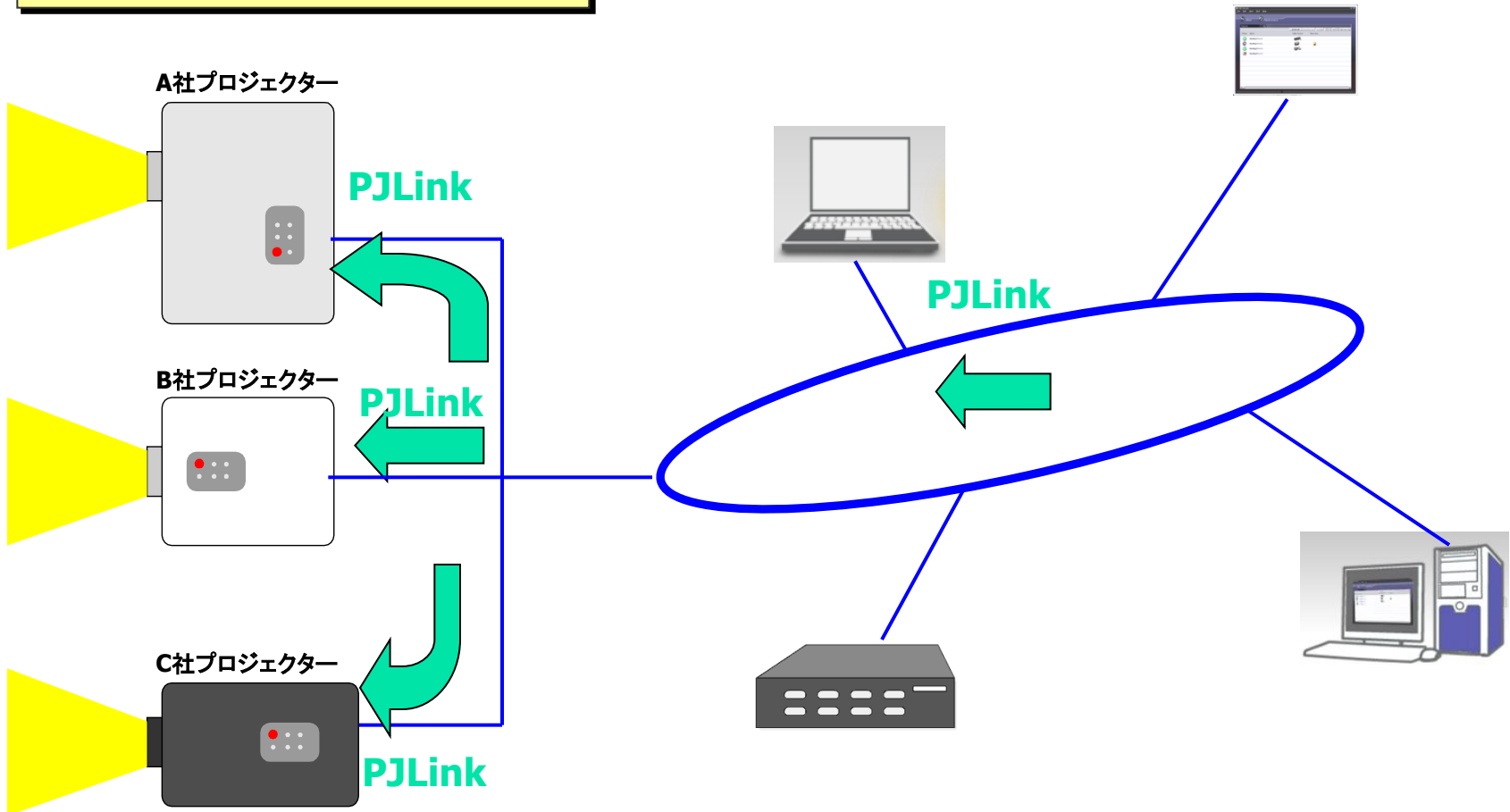
概念図

従来のRS-232Cによる制御



概念図

PJ Linkによるネットワーク制御





Classについて

- Class1 (第1期活動)
プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
- Class2以降
制御仕様の拡張、そして制御にとらわれな
い、他の標準化を検討



定義した領域

- Connection
プロジェクターを接続する手順、およびプロジェクターから認証を受ける手順
- Control
プロジェクターを制御する手順、およびプロジェクターの状態を参照する手順
- CommandFormat
プロジェクターと授受するコマンドフォーマット



基本的な機能(制御)

- 基本的なプロジェクター制御
 - 電源制御
 - 入力切り替え
 - AVミュート制御



基本的な機能(問い合わせ)

- プロジェクターの各種情報・状態を取得
 - 電源状態
 - 入力切り替え状態
 - AVミュート状態
 - エラー状態
 - ランプ使用時間
 - プロジェクター名、機種名、メーカー名



ロゴ

以下のロゴを制定いたしました。

PLink.®